



自然観察サークルの 4 月定例会では、甘樫丘の苔観察をした後、苔テラリウム作りをしました。

苔は、体を固定する仮根という根のようなものがありますが養分や水分を吸収することはありません。苔は葉緑素を持っていて光合成をして生きています。水分は配偶体と呼ばれる茎や葉のような体の表面から吸収します。光と水で生きている植物なのです。

甘樫丘で見つけた苔を紹介します。準備運動をしている足元に広がるグリーン、ここにもコケがありました。



準備運動をしている足元にはこんなに美しいコツボゴケが一面に広がっていました。前日に雨が降ったのでとりわけみずみずしい苔が見えました。



園路わきの林の中にスギゴケ(のなかま)がありました。
スギゴケはサクをつけていました。



横に林が広がった芝生広場は日当たりが良くて湿気の多い場所です。ここには様々な苔がはえていました。名前に苔という言葉がつく苔ではない植物もありました。タチクラマゴケ(シダ植物)とムラサキサギゴケです。タチクラマゴケはジャゴケとともに生えていました。



ジャゴケ(苔類)とタチクラマゴケ(シダ植物クラマゴケ科)



左はムラサキサギゴケです。苔といってもこれは種子植物門被子植物のハエドクソウ科の植物なのです。名前だけだと苔かもと思ってしまいますね。クラマゴケの仲間も同じでシダ植物なのです。

他にここで観察できた苔はハイゴケの仲間・シノブゴケの仲間・ゼニゴケの仲間とホソウリゴケ・ギンゴケなどでした。



シノブゴケ



ジンガサゴケ



ホソウリゴケ



スナゴケ



上の写真はいろいろな草の隙間に苔が生えている様子です。上手く自分の場所を確保しています。

こんな苔の様子を観察して集合場所に帰り、苔テラリウムを作りました。



それぞれ個性が出てとてもよかったです。楽しい苔テラリウム作りでした。

昼食後、5月の連休に行われる春のあそび広場(高松塚芝生広場)でするクイズとその賞品づくりをしました。サークル員全員が持ち寄った押し花で賞品となる葉づくりをしました。



集まった押し花



頑張って作った葉

クイズづくりは葉づくりと並行して行いました。クイズはあそび広場で展示しますので、ここでは内緒です。あそび広場でお会いしましょう。

